

## 審査結果概要書

平成 22 年 2 月 25 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラの新設プロジェクト
排出削減事業者名	阿賀町
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	阿賀町立津川小学校 (住所：新潟県東蒲原郡阿賀町津川 3234 番地)
事業の概要	木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO <sub>2</sub> を実質的に排出しないものとみなされるため、新設ボイラの燃料として A 重油を利用する場合に比べて、CO <sub>2</sub> 排出量を大幅に削減する。
排出削減量の計画	63tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 256 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 11 月 9 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論 001-A「バイオマスを燃料とするボイラーの新設」

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを現地訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：阿賀町立津川小学校
追加性を有すること	本排出削減事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものでもなく、省エネルギーおよび CO <sub>2</sub> 排出量の削減を目的

	<p>として本事業の実施を計画されたものであることを排出削減事業者、その他関連事業者への質問等により確認した。</p> <p>排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により、約 57 年であることを確認した。</p> <p>自治体活動の追加性という観点から、主に阿賀野川のダムに集積される流木の有効利用することにより、地球温暖化対策へ寄与すること、自治体の活動の一環として周辺地域に対して環境に配慮したイメージのアピール効果が期待できることが、本事業への投資決定の重要な一因となったことを確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者およびその他関連事業者への質問により、エネルギー使用量データを他企業・団体へ報告しておらず、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認した。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001-A に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p><b>【方法論番号 001-A ボイラの更新】</b></p> <p>適用条件 1 については、質問、関連資料の閲覧等により、流木を原料とするバイオマスを主たる燃料とするボイラの新設であることを確認した。</p> <p>適用条件 2 については、質問、サイトの視察、関連資料の閲覧等により、バイオマスボイラで生産した温水を津川小学校内で自家消費していることを確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることを、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認した。</p> <p>3) 当該事業で使用するバイオマス燃料の輸送等に係るリーケージ排出量については、本排出削減事業の排出削減量の 5% に満たないことを、排出削減事業者への質問や、関連証憑等により確認した。</p>

#### 4. 特記事項

- ✓ 現地有効化審査を実施した結果、是正の必要な指摘事項があった。その是正処置の完了を確認した。
- ✓ 投資回収年数については、補助金を除いた純投資金額をもとに算出している。
- ✓ バイオマス燃料である木質ペレットは、未利用の県内の流木や間伐材を主な原料と

していることを、排出削減事業者及びその他関連事業者への質問で確認している。

以上